

記者発表資料

新名神(三重県区間)・東海環状道(大安IC～東員IC) 開通後の交通状況および開通効果

新名神高速道路(新四日市JCT～亀山西JCT)、東海環状自動車道(大安IC～東員IC)が2019年3月17日(日)に開通しました。

ゴールデンウィークの渋滞状況や三重県内の道路ネットワークにおける交通状況、開通によるストック効果についてお知らせいたします。

<開通後1ヶ月の交通状況> 別紙1

- ①東名阪道の渋滞回数が大幅に減少
- ②新名神に並行する国道1号・国道23号の交通量 約1割減少

<高速バスの定時性向上> 別紙2

- ③渋滞緩和により高速バスの定刻運行を確保

<GWの交通状況> 別紙3

- ④東名阪道の大規模な渋滞が大幅に減少

<GW期間の観光活性化> 別紙4

- ⑤三重県への300万人以上の観光客に対応
- ⑥⑦北勢地域の沿線観光施設でも観光客数が増加

新名神・東環開通効果検討会議では、新名神高速道路・東海環状自動車道等の開通効果について調査・検討を行っております。

同会議のホームページ

<http://www.cbr.mlit.go.jp/hokusei/tsunagaruyan/index.html>

において交通状況や開通効果などを適宜報告していきます。



記者発表クラブ

中部地方整備局記者クラブ、愛知県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ、四日市市政記者クラブ、桑名市政記者クラブ、亀山市政記者室

問い合わせ先

【新名神・東環開通効果検討会議に関する全般的なお問い合わせについて】

国土交通省 中部地方整備局 北勢国道事務所

TEL: 059-363-5511 (代表)

副所長 田中 一能 計画課長 梶原 裕二

【新名神・東海環状道の交通状況について】

中日本高速道路(株)名古屋支社 広報・CSチーム

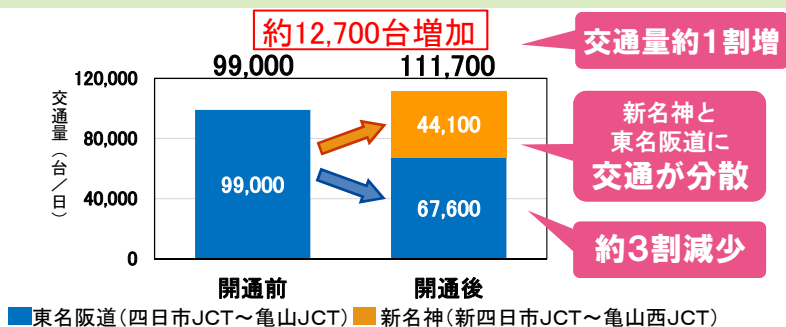
TEL: 052-222-1183 (直通)

開通効果① 開通後の交通状況(1ヶ月交通状況) 別紙 1

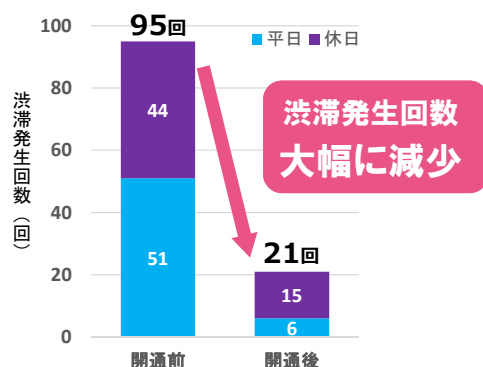
○新名神（新四日市JCT～亀山西JCT）の交通量は44,100台/日、東名阪道（四日市JCT～亀山JCT）の交通量は約3割減少、渋滞回数は大幅減少。
 ○東海環状道（大安IC～東員IC）の交通量は3,000台/日、既開通区間（東員IC～新四日市JCT）の交通量は約4割増加。



新名神・東名阪道の交通量変化

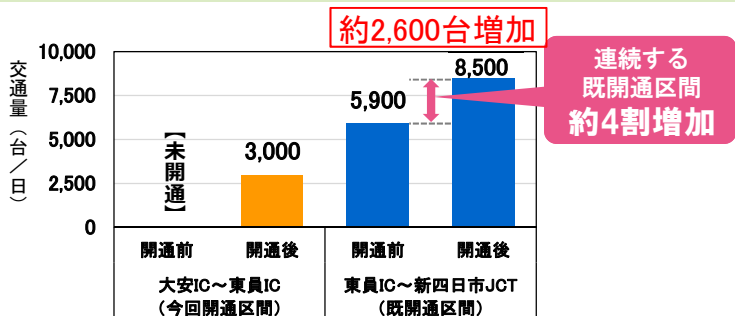


東名阪道の交通集中による渋滞発生回数(四日市JCT～亀山JCT)



※「渋滞」の定義: 速度40km/h以下の状態が、1km以上かつ15分以上継続

東海環状道の交通量変化



東名阪自動車道利用者の声

東名阪道の渋滞が減り、早く帰ることができるようになりました。レジャーに行く機会も増えると思います。

※アンケート調査より

開通効果②

開通後の交通の変化

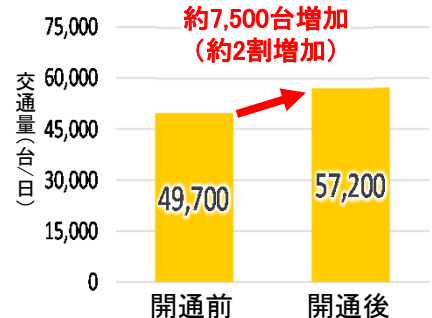
○新名神・東名阪道の交通量は約1割増加しており、国道1号・国道23号の交通量は約1割減少。

○開通区間に近接する、新名神・東名阪道の交通量は約1割から2割増加。

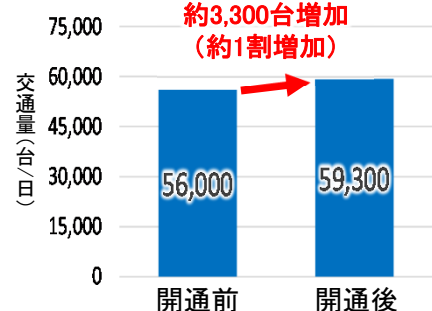


新名神・東名阪道の交通量変化

E1A 新名神(亀山西JCT-甲賀土山IC)

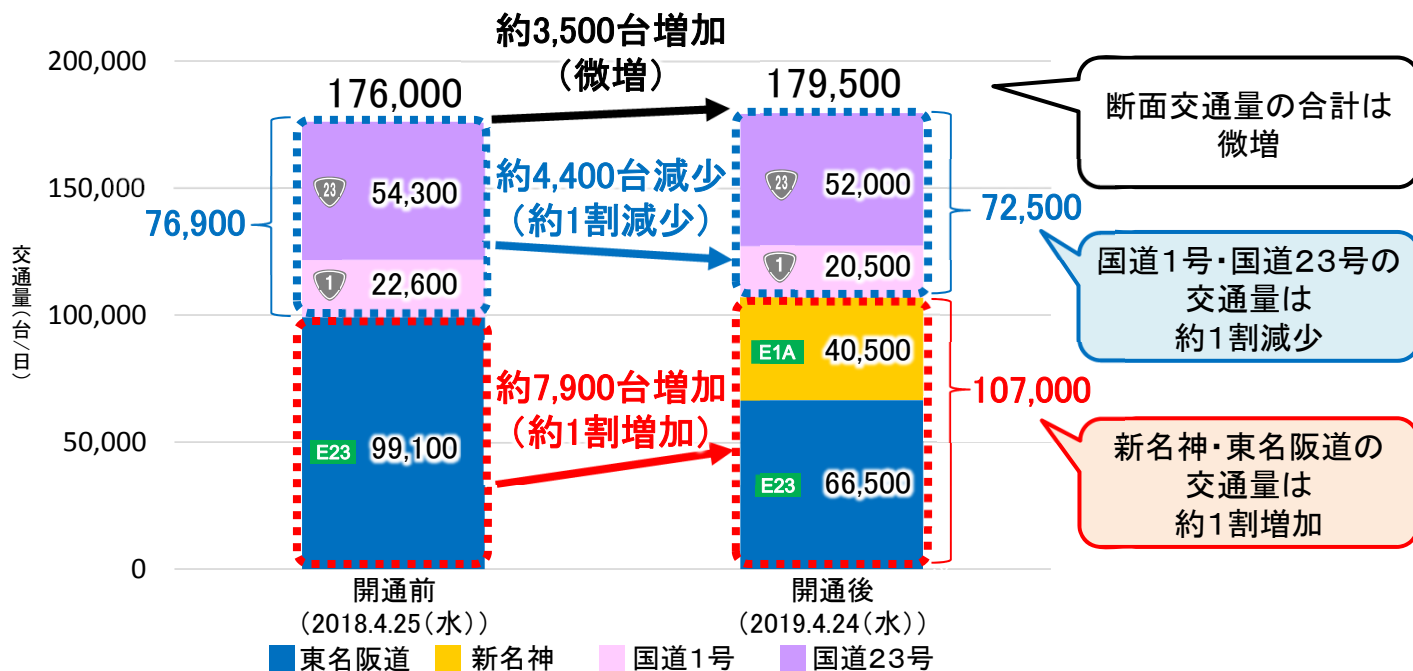


E23 東名阪道(亀山JCT-亀山SIC)



出典：交通量 中日本高速道路(株)資料
 ※対象期間 開通前 2018.03.19(月)～2018.04.18(水)
 開通後 2019.03.18(月)～2019.04.17(水)

新名神・東名阪道・国道1号・国道23号の交通量変化(菟野-四日市断面)



出典：交通量 新名神(新四日市JCT～菟野IC間) 東名阪道(四日市東IC～四日市IC間) 中日本高速道路(株)資料
 国道1号(金場町交差点付近) 国道23号(午起交差点付近) 交通量調査結果

- 東名阪道の渋滞により、伊賀方面や南紀方面と名古屋間の休日の高速バス路線の遅延が常態化、利便性が大きく低下していた。
- 新名神開通後は高速バスの定刻運行が可能となり、それにより車両・ドライバーの効率化がはかられ、今後、ドライバーの働き方改革までも期待される。



高速バス事業者の声

■新名神開通による運行状況の変化

運行状況による効率性の変化(休日)

遅延状態

渋滞による到着遅延

伊賀上野 → 名古屋

予備車両で定刻出発

予備車両とドライバーを余分に確保する必要あり

定刻運行

伊賀上野 → 名古屋

車両1台の折り返し運行

車両1台の折返し運行で車両・人員を効率化

- ・伊賀や南紀方面と名古屋間の路線では、東名阪道の渋滞で、特に休日はバスの遅延が常態化していましたが、新名神開通後は、概ね定刻運行ができています。
- ・渋滞による遅延に予備車両とドライバーを余分に確保していましたが、定刻運行が可能となり、効率的な運行ができるようになりました。
- ・更に渋滞を考慮しないダイヤ改正が可能なので、ドライバーの働き方改革にもつなげたいです。

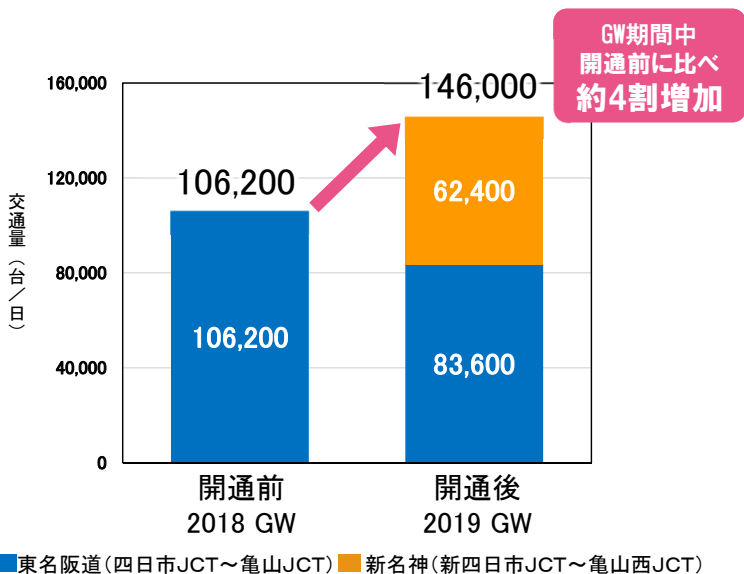


高速バス事業者

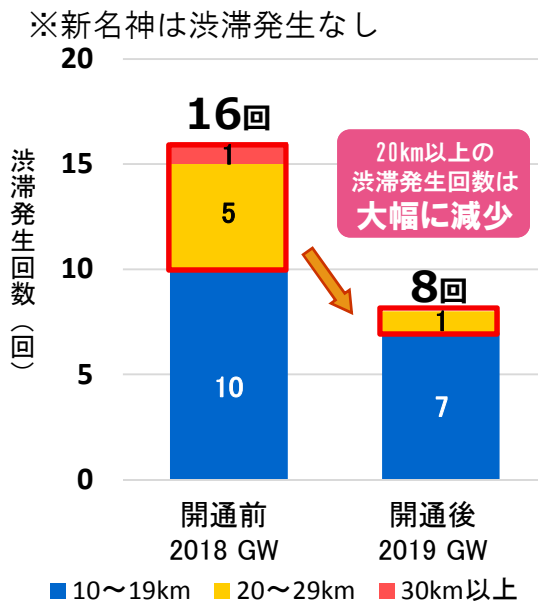
○新名神（新四日市JCT～亀山西JCT）の交通量は62,400台/日、東名阪道（四日市JCT～亀山JCT）の20km以上の渋滞回数は大幅に減少。



新名神・東名阪道の交通量変化(GW期間中)



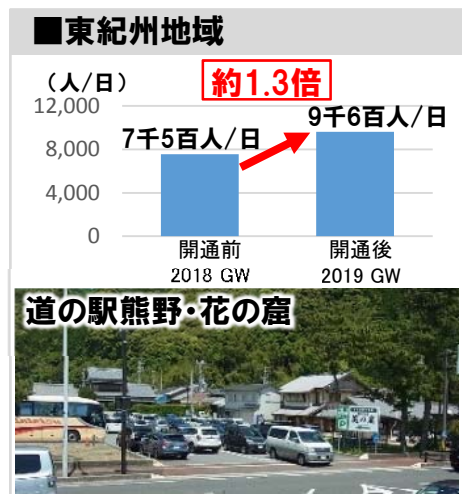
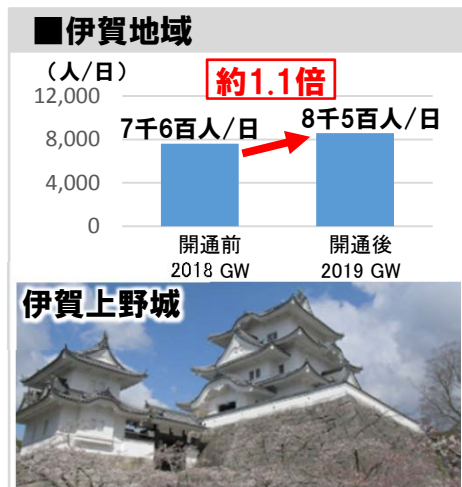
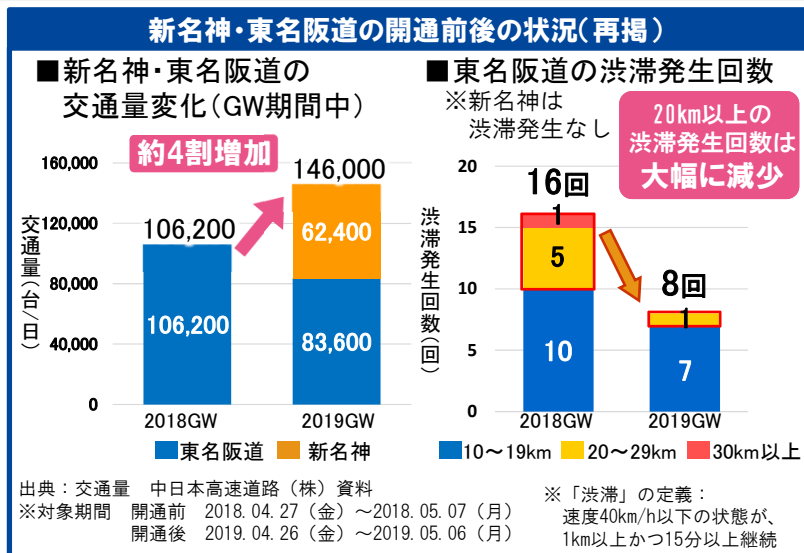
東名阪道の交通集中による渋滞発生回数(四日市JCT～亀山JCT)



出典：交通量 中日本高速道路(株) 資料
 ※対象期間 開通前 2018.04.27(金)～2018.05.07(月)
 開通後 2019.04.26(金)～2019.05.06(月)

※「渋滞」の定義：速度40km/h以下の状態が、1km以上かつ15分以上継続

○改元・10連休とも重なった今年のGWは、三重県内全域の観光入込客数が増加しており、ゴールデンウィーク期間中に3百万人以上の観光客が来訪。
 ○新名神・東名阪道の交通量は約4割増加したが、新名神の開通により、渋滞回数は大幅に減少。



出典：GW期間中の県内主要施設の観光入込客数(公表不可施設除く) 三重県観光局観光政策課(2019.05.11発表)
 ※対象期間：開通前 2018.04.28(土)~2018.05.06(日) 開通後 2019.04.27(土)~2019.05.06(月)

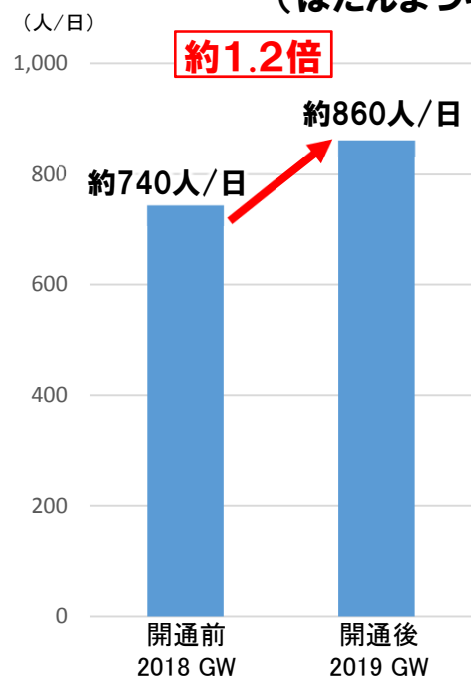
開通効果⑥

観光活性化の支援(GW期間中)

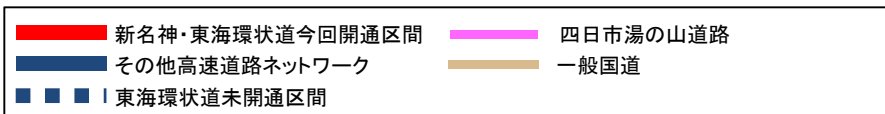
- いなべ市初の高速道路ICとして東海環状道 大安ICが開通。
- 「いなべ市農業公園」で開催された「ぼたんまつり」ではGW期間中の日あたりの入込客数が約1.2倍。



■GW期間中の入込客数推移 ・いなべ市農業公園 (ぼたんまつり)



出典：GW期間中の入込客数
三重県いなべ市 ヒアリング調査より
※対象期間：開通前 2018.04.21(土)～2018.04.30(月)
開通後 2019.04.25(木)～2019.05.06(月)
※ぼたんまつりの開催期間は開花状況で変動



いなべ市役所 観光担当者の声

- ・いなべ市農業公園で開催された「ぼたんまつり」のお客様が1.2倍に増えました。
- ・大安IC開通後、特に関西方面からの観光バスも増えており、集客効果の高まりを感じます。
- ・新たな観光施設である「にぎわいの森」への集客や地域の活性化のため、北勢IC(仮称)の早期開通を期待しています。



いなべ市役所
担当職員

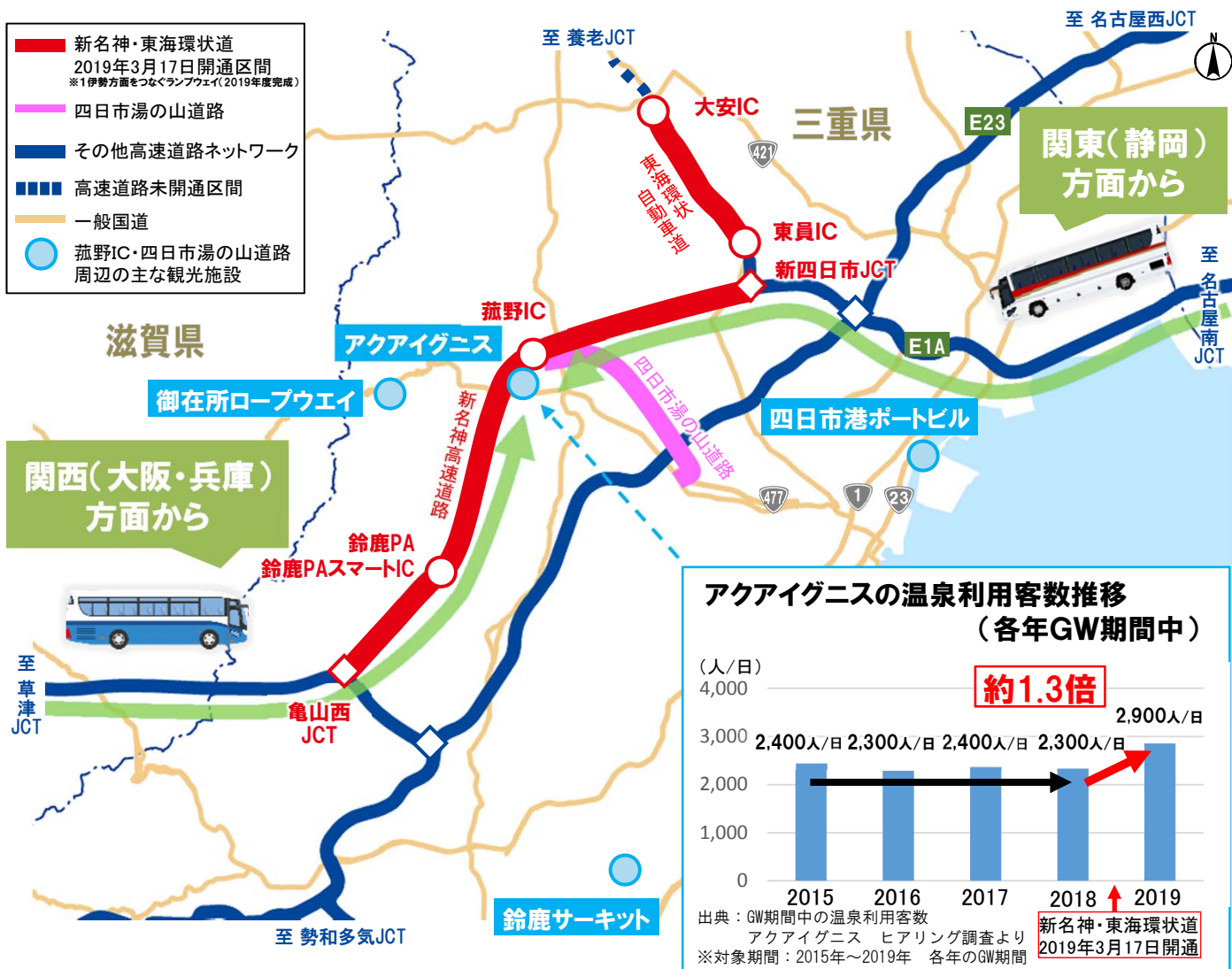
にぎわいの森



2019年5月18日(土)オープン

開通効果⑦ 大型バスの団体ツアーの集客増加(GW期間中)

- 新名神や四日市湯の山道路の開通により、菰野ICに近接する「御在所ロープウェイ」や「アクアイグニス」へ関西・関東方面からの大型バスが多く来訪。
- 「アクアイグニス」では、GW期間中の施設内の温泉利用客数が過去4年間、横ばいであったが、新名神等の開通後、利用者が約1.3倍。



御在所ロープウェイの声

- ・静岡や大阪など、遠方からの大型バスの団体ツアーの集客が増えたと感じています。
- ・新名神の開通に合わせ施設のリニューアルや、湯の山温泉開湯1300年など、様々なキャンペーンを行い、相乗効果が現れていると感じます。



アクアイグニスの声

- ・当施設の直近に菰野ICが開通し、兵庫や大阪など関西方面からの大型バスの団体ツアー予約や、日帰り入浴を利用される方が増えました。
- ・四日市湯の山道路の整備が進んだことで、周辺の観光地を周遊するツアーも多く組まれているようです。

